

令和7年度

オンライン(Zoom)によるWeb開催

参加
無料

放射線被ばく管理に関する 労働安全衛生マネジメントシステム 導入支援事業のご案内

放射線業務を行う
医療機関必見

もしかして、これって法令違反？
あなたの職場は大丈夫？

※放射線MSとは、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの呼称

改正電離放射線障害防止規則が令和3年4月に施行され、眼の水晶体に受ける等価線量の限度値が大幅に引き下げられました。放射線MSは、従事者の放射線被ばく低減に対する組織的な取組みをサポートします。

厚生労働省の第14次労働災害防止計画に「医療機関に対して、放射線被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシステムの導入を支援する」と明示されています。

当事業では、研修等(詳細は裏面をご参照ください)をとおして放射線管理体制の強化を支援します。

放射線MSを導入したことによる好事例

- ◆ 研修を受講したスタッフを中心に実務を担当する委員会を設立し、同委員会の協議事項が経営トップに伝わる組織を構築した。
- ◆ トップマネジメント、組織が機能して、院内の放射線管理に係る文化が向上し、線量計の装着や被ばく管理等が他部門の協力を得て実施することができた。
- ◆ 研修で提供されたひな型文書をもとに機関の実情にあわせながら、放射線MS運用に必要な書類等を作成している。

撮影室入口(装着率向上の工夫)



～当事業に参加された方の声～

- ◆ 研修や報告会に参加して、他の施設の事例や普段から疑問に思っていたこと等を聞くことができました。参加して良かったです。
- ◆ 研修受講後、手探りで導入に向け準備を進めていましたが、個別支援にも参加し、直接、自施設の実情をお話しすることで、それに対してのアドバイスや指導を受け、不安や疑問に感じていたことが明確になり、大変有意義な時間となりました。また参加したいです。

※参加者アンケート 放射線MSを導入したい、もしくは導入の検討をしたい : 94.3%
(令和6年度)

当事業の支援内容が放射線MS導入に効果的だと感じた: 97.7%

お申込み

事前の参加登録が必要ですので、
右記厚生労働省のウェブサイト
「研修等申込み」よりお申込み
ください。

ウェブサイト

<https://www.rad-ms.mhlw.go.jp/>



最新情報

X (旧Twitter)

アカウント名: 放射線MS事務局
@rad.ms2022



お問い合わせ | 放射線MS事務局 TEL: 03-3830-0720 (直通) メールアドレス: ms-info@rad-ms.mhlw.go.jp

本事業は、厚生労働省の委託業務として、公益財団法人原子力安全技術センターが 関係機関の協賛・協力を得て実施するものです。

協賛: 公益社団法人日本診療放射線技師会、
一般社団法人日本労働安全衛生コンサルタント会



公益財団法人
原子力安全技術センター



ひと、くらし、みらいのために
厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

放射線被ばく管理マネジメントシステム導入支援 イベント内容

9,10月 開催	基礎研修	10月 開催	専門研修	2月 開催	報告会
第1回	労働安全衛生法と放射線MSの仕組 9月1日(月) 13:00~16:00	初めて参加の方 内部監査の概要と計画	内部監査の視点、計画、実施、報告および内部監査員の育成 等	初めて参加の方 放射線MSの取り組み事例	放射線MS導入、改善や運用の好事例の報告と有識者等による討論
第2回	目標、計画の設定 9月17日(水) 13:00~16:00	参加経験のある方 監査のPDCAと監査員育成		参加経験のある方 放射線MSの改善を学ぶ	
第3回	監査、改善 10月6日(月) 13:00~16:00	10月20日(月) 講義 13:00~16:00 演習 16:00~17:30		2月13日(金) 13:00~16:00	※ 開催1ヶ月前頃にZoomウェビナーへの参加登録のためのご案内をいたします。

7-2月
開催

放射線MS導入に係る進捗相談・問題解決に向けた「個別支援」

当事業では、放射線MS導入に向けた検討または準備を進めている医療機関へ進捗状況をお伺いし、問題解決に向けたアドバイスを行うための個別支援を行っております。

(導入段階や運用中の医療機関も参加歓迎)

放射線MSの知識が豊富で実務的支援が可能な放射線技師等の支援員が対応しますので、お気軽にご参加ください。(オンライン(Zoom)対応・1時間~1時間30分程度を予定)

研修講師
梶木繁之先生



株式会社 産業保健コンサルティングアルク 代表
一般社団法人 日本労働安全衛生コンサルタント会
福岡支部副支部長(労働衛生コンサルタント)
産業医科大学 産業衛生教授
TC283 国内審議委員会委員、ISO45001審査員

報告会座長
富田博信先生



当事業運営委員会 委員長、個別支援等支援員
公益社団法人日本診療放射線技師会 副会長
公益社団法人埼玉県診療放射線技師会 会長
帝京大学医療技術学部 診療放射線学科 教授
埼玉県済生会川口総合病院

- ※ 日本診療放射線技師会の生涯教育システム(カウント付与)対象です。(研修のみ対象)
- ※ 当日参加できなかった方は、後日、Webサイトで録画映像の視聴での参加が可能です。
- ※ 国が推進している本研修等の参加をきっかけに、多数の事業場が放射線MSを導入して成果を出しています。
- ※ 都合により、内容等が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。